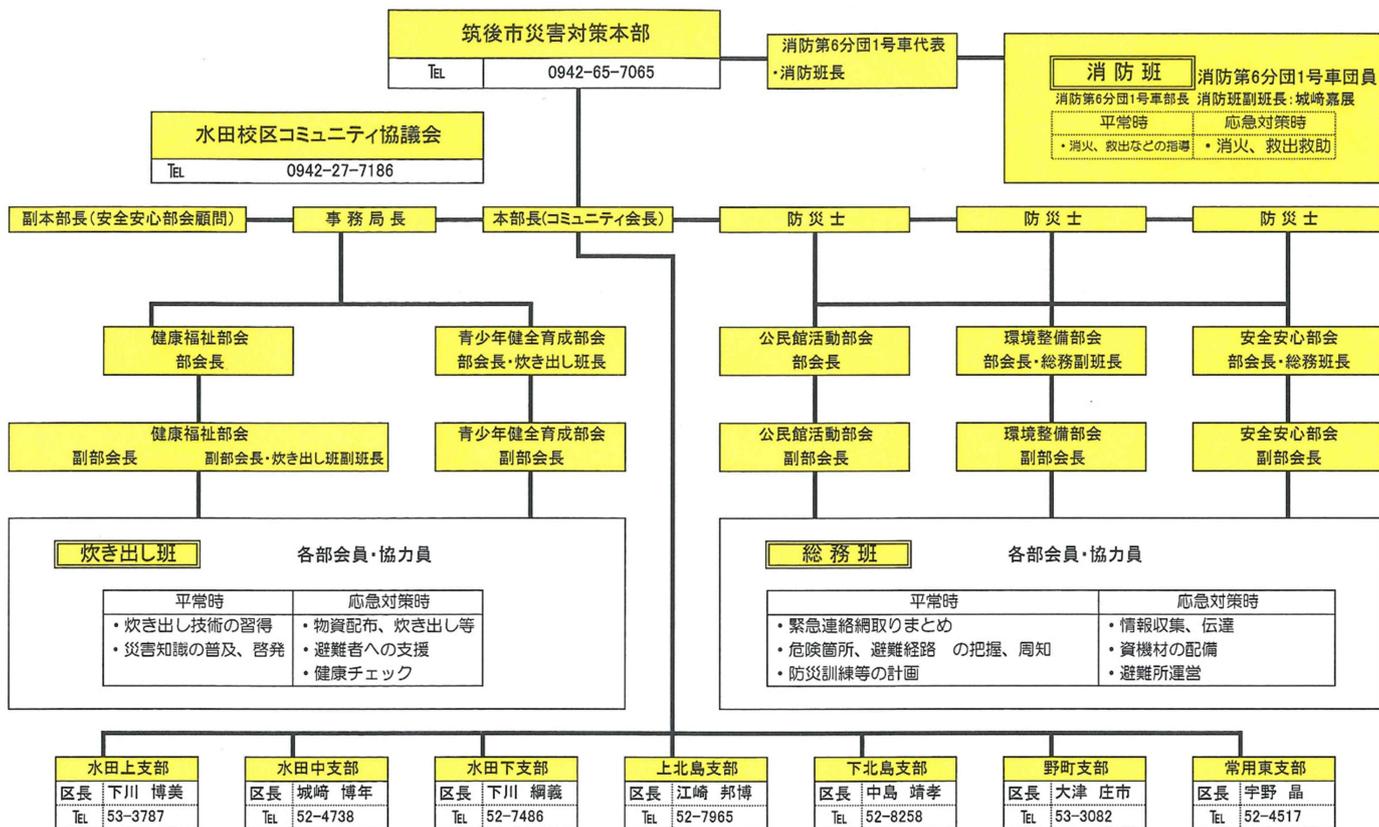




令和2年度 水田校区コミュニティ協議会 自主防災組織 緊急連絡網



※避難所設置時の支部毎の連絡網は各行政区毎の連絡網によって伝達する。

水田天満宮の史跡を訪ねて 宮司 宮原 恭盛

水田天満宮ご本殿内左右には、福岡県指定民俗文化財の獅子頭一対が奉納されています。獅子頭は黒（雄）と赤（雌）の漆塗で内側には、永正15年（1518年）10月・年島家正の刻銘があります。室町時代で、第104代後柏原天皇のご即位、十代将軍足利義植（よしたね）、その約50年後は信長・秀吉の天下統一を迎えます。

この頃の出来事は、北条早雲が大森藤頼の小田原城を攻略居城とし、国外ではマゼランが世界周航に出発し、アメリカ大陸を発見したコロンブスと共に地球球体説が実証されました。以降、約500年の長い長い年月が流れています。

獅子頭は福岡県文化財に昭和36年に指定され、昭和60年に虫食い欠損箇所が発覚され、共に全面漆塗りの修復を行いました。昔より初宮詣（赤ちゃんのお宮参り）にご祈願の獅子頭として、黒（雄）

は男の子、赤（雌）は女の子に大きく獅子の口を開け、赤ちゃんの頭部に被せて魔除け・健康祈願の神事で使用されます。

約500年以上も赤ちゃんの成長をお護り続ける獅子頭に感謝いたします。



獅子頭 赤（雌）



獅子頭 黒（雄）